

シリンジポンプ 技術チェックリスト (指導者用)

A : ほぼ手順に沿って行えている B : 練習が必要

手順		チェック欄	コメント
準備 (ベットのサイド)	① 患者氏名を名乗ってもらう (意識のある場合)		
	② フルネームでの患者呼称とリストバンドでの確認する		
	③ 注射箋と薬剤の内容を指差し呼称で確認する (名前、日にち、時間、薬剤名、量、速度、投与ルート)		
	④シリンジポンプの位置を患者のベッドの高さに合わせる		サイフォニング現象予防
	⑤刺入部の確認をする		発赤、腫脹、点滴の漏れ確認
シリンジ セット 装着	①電源を入れる コンセントを差し込み、電源スイッチを押す		シリンジを装着せず電源を入れる
	②初期画面の確認をする ランプがすべて点灯した後、シリンジ、押しクラッチ、閉塞圧 L、流量デジタルが点灯する		セルフチェック機能を 確認 (左記)
	③シリンジのセット クランプ、押しクラッチのスライダーを正しくセットする		
	④画面と使用シリンジサイズの一致を確認する		
	⑤流量設定 流量ダイヤルにより、流量を設定する		
	⑥プライミング 「早送り」スイッチを押し、ルート先端まで薬液を満たす		デットスペースによる、注 入されない時間をなくす
	⑦注射箋で投与ルートの部位を確認し接続する		
注入 開始	①流量を再確認する		
	②三方活栓を開ける		
	③「開始」スイッチを押し、注入を開始する		
	④動作インジケータの点滅を確認する ④ 内臓バッテリーランプ、AC ランプの点灯を確認する (1 個約 30 分 2 個約 80 分 3 個約 160 分)		移動時はバッテリーラ ンプを確認する
確認	最終チェックリストで指差し呼称を行う		
注入 終了	①「停止・消音」スイッチを押す		
	②ワンタッチクレンメ (三方活栓) を閉じる		
	③電源を切る。表示が消えるまで電源スイッチを押す		
	④患者とルートの接続をはずす。		
	⑤クランプを上げ、シリンジを取り外す		
	⑥ポンプのクランプを下げ、ポンプの汚れなどを拭いて、後片付けをする		シリンジ交換の際の汚 れの清掃
説明 事項	閉塞時の対応 (トラブルシューティング)		
	① 三方活栓の場合		
	② Y 字シュアプラグの場合		
	③ 何らかの原因で閉塞した場合		
サイフォニング現象		指導者サイン ()	

輸液ポンプ 技術チェックリスト (指導者用)

A : ほぼ手順に沿って行えている B : 練習が必要

手順		チェック欄	コメント
準備 (ベットサイド)	① 患者氏名を名乗ってもらう (意識のある場合)		
	②フルネームでの患者呼称とリストバンドでの確認する		
	③注射箋と薬剤の内容、ボトルの氏名を指差し呼称で確認する (名前、日にち、時間、薬剤名、量、速度、投与ルート)		
	④輸液ポンプを点滴棒にセットする		
	⑤刺入部の確認をする		発赤、腫張、点滴の漏れ確認
輸液セット装着	①コンセントを入れ、ドアを開けてから電源スイッチを押す		
	②初期画面の確認をする		
	ランプがすべて点灯した後、気泡、閉塞、ドアランプと動作インジケータが点灯する		セルフチェック機能を確認 (左記)
	③ドアの解除レバーを開けて、輸液セットを装着部にたるみ無く装着し、ドアを閉める		フリーフロー、ノンフロー予防のため
	④クレンメはポンプ下流部にセットする		フリーフロー予防のため
	⑤プローブ (滴下センサー) を滴下筒の液面より上にセットする		赤外線感知に直射日光を当てない
	⑥注射伝票で患者氏名・薬剤名を確認する		
	⑦滴数を輸液セットの種類に合った敵数に合わせる		小児用 60 滴 成人用 20 滴
	⑧輸液流量を指示通り設定する		
⑨予定量を確認する		持続点滴の場合は設定なし	
輸液開始	①ポンプ下流部の輸液セットのクレンメを開放する		フリーフローがないか確認
	②患者にルートを接続し、患者側のワンタッチクレンメを開放する。		
	③輸液セットがポンプに正しく装着されているか、ボトルから刺入部まで手でたどり確認する		
	④「開始」ボタンを押し、開始する		
	⑤滴下の確認とセンサーの点滅を確認する		
	⑥内臓バッテリーランプ、AC ランプの点灯を確認する (1 個約 15 分 2 個約 30 分 3 個約 80 分)		移動時は 3 つのバッテリーランプがついていることを確認
確認	最終チェックリストで指差し呼称を行う		
注入終了	①停止・消音ボタンを押してポンプの作動を止める		
	②患者側のワンタッチクレンメを閉じる。		
	③輸液セットのクレンメを閉めてから電源を切り、表示が消えるまで電源スイッチを押し続ける		
	④輸液ルートの接続を患者からはずす。		
	⑤ポンプのドアを開けボトルを取り外す		
	⑥ポンプの汚れなどを拭いて、後片付けをする。		
説明事項	閉塞時の対応 (トラブルシューティング) ①患者側ワンタッチクレンメ ②輸液セットのクレンメ 輸液チューブをセットする位置やチューブを変える理由	フリーフローとノンフロー 指導者サイン ()	